

事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-34	講座名	社会と土木の「話の泉」
記載日	2022/4/15	団体名・企業名	CE技術の会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

生活環境に影響を及ぼす分野での情報提供の講座とし、聴講参加者のスキルアップに繋がることを期待した。私たちが生活する中で「移動すること」はもっとも基本的な行動の一つである。今回の講座は、この移動を担保する「交通」に焦点を当てて、生活環境との関係を考える講座とした。特徴は以下の通り。1回目は、自動車を取り巻く状況について、CASEと呼ばれる技術や情報等のデータを精査して、著しい変化の現状を分かり易く解説して頂いた。2回目は環境にやさしい交通ネットワークを確保していくための道路、鉄道が果たす役割や生活環境のレベルを維持していくための交通需要予測等についてお話し頂いた。なお、もう1回の講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の「まん延防止等重点措置」により、4月へ延期した。



※写真1の説明

2021/11/24開催、講師の話をも熱心に聞いている受講者

※写真2の説明

2022/3/23開催、講師の話をも熱心に聞いている受講者

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

昨年に続いてのコロナ禍の最中での開催の難しさが身に沁みました。昨年に続いての年度内は2回の開催でした。1回目は、いま交通社会の中での注目されているテーマであるCASE (Connected, Autonomous, Shared & Service, Electric) とMaasの現状、またスマートシティという概念についてよく理解できたと思います。2回目は、まずは名古屋圏を例に環境にやさしい交通ネットワークとしての道路網・地下鉄網の役割について、続いて自動車交通量が解ると何が出来るかということについて、最後には交通量の予測手法についてと受講者にとっては身近ではあっても意外と理解しにくい「交通需要」についての理解が深まったと思います。受講者からは評価して頂けたと思っています。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・大変内容のある、ためになる話でした。
- ・興味ある内容だった。
- ・新しい問題、課題について理解できた。
- ・解り易かった。
- ・道路交通量がわかるといろいろな評価が出来るということが非常に分かり易く理解できました。
- ・身近なテーマで親しみやすい内容でした。
- ・講師の方が上手でした。